

「オフィスビルに対するステークホルダーの意識調査2025」 調査票

＜ご注意＞

- Webアンケート回答画面とは各設問の回答画面表示の仕方が異なる場合がございます。
- 実際のWebアンケート回答画面では、各設問の回答内容によっては、以降の選択肢が一部非表示（設問間の回答内容に整合性がとれない回答を制限するため）となる場合がありますので、予めご承知おきください。
- 紙媒体でご回答の場合には、各設問で該当する回答項目の左コに✓をお願いします。
また、数値回答や自由回答の場合には、所定の箇所に記入をお願いします。

＜ご参考：本調査の設問一覧（概要）＞

※ 実際の設問は次頁以降に掲載しております。

企業の属性に関する設問①（全5問（最低5問））		
Q1	本社所在地	
Q2	本社の保有・契約形態	
Q3	本社の使用面積	
Q4	本社ビルの延床面積	
Q5	本社ビルの築年数	
テナント現状分析に関する設問（全6問（最低3問））		
Q6	オフィス出社率	
Q7	人材育成・確保のためのオフィス整備の優先度	
Q8	オフィス変更検討状況	
Q9	オフィス変更内容	（※）該当者のみ回答
Q10	オフィス変更理由	（※）該当者のみ回答
Q11	設備機能の拡大・縮小	（※）該当者のみ回答
オフィスニーズに関する設問（全2問（最低2問））		
Q12	オフィス選択基準	
Q13	移転時に着目する環境・ウェルビーイング項目	
環境配慮/ウェルビーイングに関する設問（全5問（最低3問））		
Q14	環境性能を高めたビルに対する賃料負担許容度	
Q15	賃料負担してもよいと思う環境性能の要素	（※）該当者のみ回答
Q16	ビルに望むウェルビーイング関連の設備・サービス	
Q17	ウェルビーイング対応したビルに対する賃料負担許容度	
Q18	賃料負担してもよいと思うウェルビーイングの要素	（※）該当者のみ回答
オフィスニーズの背景となる企業行動等に関する設問（全1問（最低1問））		
Q19	ESG/SDGs関連のオフィス情報開示の要求先	
木材に関する設問（全2問（最低2問））		
Q20	木材活用ビルに期待する効果	
Q21	木材活用ビルに懸念事項	
改修に関する設問（全1問（最低1問））		
Q22	築古ビルの適した改修ポイント	
DXに関する設問（全1問（最低1問））		
Q23	入居ビルに導入してほしいデータ関連サービス	
企業の属性に関する設問②（全7問（最低6問））		
Q24	業種（大分類）	
Q25	国内支社・支店を含めた単体の従業員（正社員）数	
Q26	外資系企業	
Q27	外資系企業との取引（売上額・支出額）比率	
Q28	本社方針の適用範囲	
Q29	本社と同じ方針を適用する支店・支社の所在地	（※）該当者のみ回答
Q30	企業名・部署名・メールアドレス等	

1 本社の所在地を一つ選択してください。（単回答）

- ・登記上の本社と実務上の本社が異なる場合は、実務上の本社を選択してください。
- ・複数の本社が存在する場合は、勤務する従業員数が最も多いオフィスを選択してください。
- ・次の設問以降、本設問で回答した本社を想定してご回答ください。

該当する番号に✓をお願いします。

- 1 東京都特別区内
- 2 大阪市内
- 3 名古屋市内
- 4 札幌市内
- 5 仙台市内

- 6 京都市内
- 7 神戸市内
- 8 広島市内
- 9 福岡市内
- 10 その他（自由回答）

10 その他（自由回答）

2 本社オフィスの保有・契約形態について、該当するものを選択してください。（単回答）

該当する番号に✓をお願いします。

--

1 自社保有

--

2 賃借

3 本社オフィスの使用面積（入居するビル内における、自社利用しているオフィスの面積）について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）

※1坪＝3.3㎡。正確な数値が不明な場合はおおよそでかまいません。

該当する番号に✓をお願いします。

- 1 50坪未満
- 2 50～90坪
- 3 100～199坪
- 4 200～299坪

- 5 300～499坪
- 6 500～999坪
- 7 1,000～1,999坪
- 8 2,000坪以上

4 本社オフィスが入居するビルの延床面積（ビル全体の床面積）について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）

※1坪＝3.3平方メートル。正確な数値が不明な場合はおおよそでかまいません。

該当する番号に✓をお願いします。

- 1 1,000坪未満
- 2 1,000～4,999坪

--

3 5,000坪以上

5 本社オフィスの築年数について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）

該当する番号に✓をお願いします。

- 1 5年未満
- 2 5年以上10年未満
- 3 10年以上15年未満
- 4 15年以上20年未満
- 5 20年以上25年未満
- 6 25年以上30年未満

- 7 30年以上35年未満
- 8 35年以上40年未満
- 9 40年以上45年未満
- 10 45年以上50年未満
- 11 50年以上

6 テレワークの実施状況に関する設問です。現在の出勤率について、数値を記入してください。（数値回答）

- ・なお、テレワークのみの勤務の場合は出勤率0%、テレワーク制度が無い場合は出勤率100%となります。
- ・数値は0%～100%の範囲で回答してください。

--

%

7 貴社の事業戦略についてお伺いします。事業戦略のうち、人材獲得（新卒・転職双方）・離職防止（リテンションの確保）の観点から取組む施策について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答）

該当する番号に✓をお願いします。

- 1 賃金引き上げ
- 2 福利厚生制度の拡充
- 3 多様な人材が働きやすい制度の拡充（育児支援、介護支援等）
- 4 柔軟な働き方に対応する制度の拡充（テレワーク、フレックス、副業、社内起業等）
- 5 人的資本関連情報開示の充実
- 6 オフィス環境整備（オフィスビル内・専有部内の利便性・快適性向上、コミュニケーション空間やリフレッシュスペースの充実、ダイバーシティ対応等）
- 7 オフィスの立地変更（交通利便性や周辺の利便性が高いエリアへの移転）
- 8 本社または主要な地方支社への拠点集約
- 9 その他（自由回答）
- 10 人材育成・人材獲得の観点から取組む施策はない …… **10を選択する場合は複数回答不可**

9 その他（自由回答）

8 オフィスの変更（レイアウト変更・縮小・拡張・移転等）状況について該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--|------------------------------------|
| | 1 過去5年程度（2020年夏頃～2024年）にオフィスの変更をした |
| | 2 今年（2025年）中に変更した・変更を予定 |
| | 3 ここ数年のうち（～2028年頃まで）に変更予定 |
| | 4 時期は未定だが変更予定 |
| | 5 変更予定はないが、今後方針を検討したい |
| | 6 オフィス変更をしたい又は検討したが、難しいと考えている |
| | 7 特に検討していない ⇒ Q12-2へ |

9 【Q8で 7以外の回答】を選択した方にお伺いします。
変更内容として該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | | | |
|--|-------------------|--|-------------------|
| | 1 レイアウト変更 | | 3 自社スペース（専有面積）の拡張 |
| | 2 自社スペース（専有面積）の縮小 | | 4 移転 |

10 【Q8で 7以外の回答】を選択した方にお伺いします。
変更理由または変更したい理由として該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--|--|
| | 1 事業規模拡大 |
| | 2 統合による拠点集約 |
| | 3 賃料等、コスト負担の軽減 |
| | 4 テレワークの定着等による出社率低下 |
| | 5 多様な人材が働きやすいオフィス環境の整備（ダイバーシティ対応等） |
| | 6 魅力的なオフィス環境の整備（利便性向上（周辺環境等）、快適性向上（福利厚生施設の充実等）） |
| | 7 生産性向上に資するオフィス環境の整備（コミュニケーション空間・リフレッシュスペースの充実等） |
| | 8 エネルギー性能の向上等、環境配慮の充実 |
| | 9 求める立地条件の変更 |
| | 10 入居しているオフィスビルの建替え |
| | 11 その他（自由回答） |
| | 12 該当するものはない …… 12を選択する場合は複数回答不可 |

11 その他（自由回答）

11 【Q8で 6、7以外の回答】を選択した方にお伺いします。
専有面積の中で面積（スペース）を増加させた機能・設備のうち、該当するものをすべて選択してください。
反対に、面積（スペース）を減少させた機能・設備のうち、該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

<増加>

- | | |
|--|--|
| | 1 役員・従業員 1 人あたりの執務スペース |
| | 2 座席数 |
| | 3 生産性向上に資するオフィス環境の整備（コミュニケーション空間・リフレッシュスペース・専有部内の会議室・個室ブース等） |
| | 4 その他（自由回答） |
| | 5 該当するものはない …… 5を選択する場合は複数回答不可 |

4 その他（自由回答）

<減少>

- | | |
|--|--|
| | 1 役員・従業員 1 人あたりの執務スペース |
| | 2 座席数 |
| | 3 生産性向上に資するオフィス環境の整備（コミュニケーション空間・リフレッシュスペース・専有部内の会議室・個室ブース等） |
| | 4 その他（自由回答） |
| | 5 該当するものはない …… 5を選択する場合は複数回答不可 |

4 その他（自由回答）

12-1 【Q8 で1、2】かつ【Q9 で4】を選択した（オフィス移転をすでに決定した）方にお伺いします。
 オフィス移転時に、入居するオフィスビル及び周辺環境に求めた条件についてお伺いします。以下の各選択肢の重要度をお答えください。（選択肢ごとに単回答）
 重要度は
 ・必ず求める項目を「①必須」とお答えください。
 ・必須を選択しなかった項目のうち、その重要度を「②重要度は高い」、「③重要度は中間程度」、「④重要度は低い」の3つの段階で評価してください。
 ・求めない項目は「⑤求めない」とお答えください。
 下記表の該当する番号に✓をお願いします。

NO.	①	②	③	④	⑤
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

- 【①必須、②重要度は高い、③重要度は中間程度、④重要度は低い、⑤求めない】
- 1 賃料
 - 2 最寄り駅までの距離
 - 3 中心市街地に所在
 - 4 主要顧客・主要取引先との距離
 - 5 鉄道・路線バスに係る交通利便性（アクセス性、複数路線が利用できる等）
 - 6 近距離移動の利便性（シェアサイクル、マイクロモビリティ等）
 - 7 築年数
 - 8 1フロアの面積
 - 9 災害リスクに対する性能と対応の充実度
 - 10 セキュリティ性能
 - 11 エネルギー性能の向上等、環境配慮の充実度
 - 12 周辺利便性
 - 13 回遊性（歩きたくなる周辺環境）
 - 14 ウェルビーイングの実現に係る対応（※）の充実度
 - 15 自然資本・生物多様性（生態系保護や緑化等）に関する情報開示の充実度
 - 16 人権配慮（資源調達時のフェアトレード等）に関する情報開示の充実度

※ テナント企業が共用可能な会議室、コミュニケーション促進施設、健康増進施設、託児所、多言語対応、LGBTQ対応を図ること等

12-2 【Q8 で1、2以外】かつ【Q9 で4以外】を選択した方（12-1の回答対象外の方）にお伺いします。
 今後オフィスを移転する場合（移転予定が無い場合でも、仮に移転した場合を想定してお答えください）、
 入居するオフィスビル及び周辺環境に求める条件として、以下の各選択肢の重要度をお答えください。（選択肢ごとに単回答）
 重要度は
 ・必ず求める項目を「①必須」とお答えください。
 ・必須を選択しなかった項目のうち、その重要度を「②重要度は高い」、「③重要度は中間程度」、「④重要度は低い」の3つの段階で評価してください。
 ・求めない項目は「⑤求めない」とお答えください。
 下記表の該当する番号に✓をお願いします。

NO.	①	②	③	④	⑤
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

- 【①必須、②重要度は高い、③重要度は中間程度、④重要度は低い、⑤求めない】
- 1 賃料
 - 2 最寄り駅までの距離
 - 3 中心市街地に所在
 - 4 主要顧客・主要取引先との距離
 - 5 鉄道・路線バスに係る交通利便性（アクセス性、複数路線が利用できる等）
 - 6 近距離移動の利便性（シェアサイクル、マイクロモビリティ等）
 - 7 築年数
 - 8 1フロアの面積
 - 9 災害リスクに対する性能と対応の充実度
 - 10 セキュリティ性能
 - 11 エネルギー性能の向上等、環境配慮の充実度
 - 12 周辺利便性
 - 13 回遊性（歩きたくなる周辺環境）
 - 14 ウェルビーイングの実現に係る対応（※）の充実度
 - 15 自然資本・生物多様性（生態系保護や緑化等）に関する情報開示の充実度
 - 16 人権配慮（資源調達時のフェアトレード等）に関する情報開示の充実度

※ テナント企業が共用可能な会議室、コミュニケーション促進施設、健康増進施設、託児所、多言語対応、LGBTQ対応を図ること等

13 今後オフィスに移転する際に、オフィスビルの環境配慮性能やウェルビーイングの実現に係る対応に関して、着目しているものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1 省エネルギー性能（エネルギー消費量やCO2排出量が削減）が高い設備・機能を備えている |
| ☐ | 2 再生可能エネルギー由来の電力（再エネのビル内の自家発電や外部調達等による）が活用可能 |
| ☐ | 3 BELSやZEBを取得している |
| ☐ | 4 DBJグリーンビルディング認証を取得している |
| ☐ | 5 CASBEEを取得している |
| ☐ | 6 LEEDを取得している |
| ☐ | 7 多様な人材が働きやすいオフィス環境整備（ダイバーシティ対応等） |
| ☐ | 8 魅力的なオフィス環境の整備（利便性向上（周辺環境等）、快適性向上（福利厚生施設の充実等）） |
| ☐ | 9 生産性向上に資するオフィス環境の整備（コミュニケーション空間・リフレッシュスペースの充実等） |
| ☐ | 10 CASBEEウェルネスオフィス評価認証を取得している |
| ☐ | 11 WELL認証を取得している |
| ☐ | 12 再生資源の利用促進や、廃棄物の発生抑制を推進している |
| ☐ | 13 ビルに木材（CLT等）を使用している |
| ☐ | 14 屋上・壁面緑化を施している |
| ☐ | 15 サプライチェーン全体での生物多様性への対応（ビル建設時の生態系保護への配慮、ビルや周辺における緑化等） |
| ☐ | 16 サプライチェーン全体での人権配慮への対応（ビル建設時の資源調達におけるフェアトレード等） |
| ☐ | 17 具体的な項目は無いが、ESG・SDG s に配慮した性能の高いビルに着目している |
| ☐ | 18 その他（自由回答） |
| ☐ | 19 特に着目しているものはない …… 19を選択する場合は複数回答不可 |

18 その他（自由回答）

14 環境配慮対応が図られているビルに入居した場合、コスト（賃料、電気料金等のオフィス使用に係る費用）負担として許容できる範囲について、該当するものを一つ選択してください。
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1 賃料上昇によるコスト負担増は許容できない ⇒ Q16-1 または Q16-2 |
| ☐ | 2 1～1,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる |
| ☐ | 3 1,001～3,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる |
| ☐ | 4 3,001～5,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる |
| ☐ | 5 全てのコスト（賃料、電気料金等のオフィス使用に関するコスト）を織り込んだコスト増を許容できる |
| ☐ | 6 環境配慮対応をしているビルに入居しているため、コスト増は考慮していない ⇒ Q16-1 または Q16-2 |
| ☐ | 7 その他（自由回答） ⇒ Q16-1 または Q16-2 |
| ☐ | 8 わからない ⇒ Q16-1 または Q16-2 |

7 その他（自由回答）

15 【Q14 で2～5】を回答した方にお伺いします。

コスト負担を許容する際に、環境配慮対応の実現に向けて求める要素について、下記から該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1 省エネルギー性能（エネルギー消費量やCO2排出量が削減）が高い設備・機能を備えている |
| ☐ | 2 再生可能エネルギー由来の電力が活用可能 |
| ☐ | 3 第三者認証制度（BELS、DBJグリーンビルディング認証、CASBEE、LEED等）を取得している |
| ☐ | 4 再生資源の利用促進や、廃棄物の発生抑制を推進している |
| ☐ | 5 ビルに木材（CLT等）を活用している |
| ☐ | 6 屋上・壁面緑化を施している |
| ☐ | 7 その他（自由回答） |
| ☐ | 8 わからない …… 8を選択する場合は複数回答不可 |

7 その他（自由回答）

16-1 【Q8 で1】、かつ【Q9 で4】を選択した（オフィス移転をすでに実施または決定した）方にお伺いします。

以下の各選択肢のうち、実際のオフィス移転に際して、利用可能になった設備をすべて選択ください。
また、選択した設備について、期待する効果もしくは実感した効果を以下の選択肢からご回答ください。
なお、効果は以下の選択肢①～⑥から該当するものをすべてご選択ください。（項目ごとに複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- 選択肢①～⑥：感じられた（成果が得られた）効果
- ① 新入社員・中途社員といった人材獲得
 - ② 従業員満足度の向上（離職防止、リテンション）
 - ③ 生産性の向上
 - ④ 企業業績の向上
 - ⑤ 効果はみられなかった
 - ⑥ 新たに導入していない

NO.	①	②	③	④	⑤	⑥
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						

- 1 共用会議室（専有部の会議室を除く）
- 2 コミュニケーション促進機能を持つ施設・空間
- 3 個室ブース
- 4 シェアオフィス
- 5 社員食堂
- 6 リフレッシュスペース
- 7 カフェスペース・バーカウンター
- 8 医療施設（医療・保健相談が可能な施設）
- 9 健康増進施設（ジム、ヨガ等が実施できるスタジオ等）
- 10 シャワーブース
- 11 緑のあるくつろげる空間（壁面緑化、植栽又は木材利用等）
- 12 コンビニ、飲食店等
- 13 喫煙室
- 14 屋上スペース
- 15 駐輪場
- 16 託児所
- 17 パウダールーム
- 18 多言語対応・ジェンダーレス対応設備（トイレ等）
- 19 宗教施設（祈禱室等）

16-2 【Q16-1の回答対象外】の方にお伺いします。

以下の設備やサービス等の中で、ビル専有部内にあることが望ましい設備・サービスを「ビル専有部」、
ビル共用部内にあることが望ましい設備やビル共用部内で使用したいサービスを「ビル共用部」、
ビル内でなくてもビル周辺部にあれば望ましい設備・サービスを「ビル周辺」、
特に望まない設備・サービスを「なくてもよい」として、項目毎に該当するものを選択してください。（項目ごとに単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- 選択肢①～④：設備・サービスをどのような位置に望むか
- ① ビル専有部
 - ② ビル共用部
 - ③ ビル周辺
 - ④ なくてもよい

NO.	①	②	③	④
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

- 1 共用会議室（専有部の会議室を除く）
- 2 コミュニケーション促進機能を持つ施設・空間
- 3 個室ブース
- 4 シェアオフィス
- 5 社員食堂
- 6 リフレッシュスペース
- 7 カフェスペース・バーカウンター
- 8 医療施設（医療・保健相談が可能な施設）
- 9 健康増進施設（ジム、ヨガ等が実施できるスタジオ等）
- 10 シャワーブース
- 11 緑のあるくつろげる空間（壁面緑化、植栽又は木材利用等）
- 12 コンビニ、飲食店等
- 13 喫煙室
- 14 屋上スペース
- 15 駐輪場
- 16 託児所
- 17 パウダールーム
- 18 多言語対応・ジェンダーレス対応設備（トイレ等）
- 19 宗教施設（祈禱室等）
- 20 該当するものはない

17 ウェルビーイングの実現に係る対応（※）が図られているビルに入居した場合、コスト（賃料、電気料金等のオフィス使用に係る費用）負担として許容できる範囲について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1 賃料上昇によるコスト負担増は許容できない ⇒ Q19△ |
| ☐ | 2 1～1,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる |
| ☐ | 3 1,001～3,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる |
| ☐ | 4 3,001～5,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる |
| ☐ | 5 全てのコスト（賃料、電気料金等のオフィス使用に関するコスト）を織り込んだコスト増を許容できる |
| ☐ | 6 ウェルビーイングの実現に係る対応をしているビルに入居しているため、コスト増は考慮していない ⇒ Q19△ |
| ☐ | 7 その他（自由回答） ⇒ Q19△ |
| ☐ | 8 わからない ⇒ Q19△ |

7 その他（自由回答）

※テナント企業が共用可能な会議室、コミュニケーション促進施設、健康増進施設、託児所、多言語対応、LGBTQ対応を図ること等

18 【Q17で2～5を回答】した方にお伺いします。
コスト負担を許容できると回答した、ウェルビーイング対応を行うに際し、期待する効果について、下記から該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| ☐ | 1 新入社員・中途社員といった人材獲得を促す効果 |
| ☐ | 2 従業員満足度の向上（離職防止、リテンション）を促す効果 |
| ☐ | 3 生産性の向上を促す効果 |
| ☐ | 4 企業業績の向上を促す効果 |
| ☐ | 5 その他（自由回答） |

5 その他（自由回答）

19 貴社の関係先から、ESG/SDGsに関連するオフィスの機能・指標等について、開示・説明等の要求がある場合、該当する主体を選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1 株主 |
| ☐ | 2 関連会社（子会社・親会社等） |
| ☐ | 3 従業員 |
| ☐ | 4 金融機関 |
| ☐ | 5 投資家（国内） |
| ☐ | 6 投資家（海外） |
| ☐ | 7 取引先・仕入先 |
| ☐ | 8 その他（自由回答） |
| ☐ | 9 該当する内容に関する要求はない …… 9を選択する場合は複数回答不可 |

8 その他（自由回答）

20 近年、オフィスビル建築における木材の活用促進が議論されているなかで、入居ビル選定時に、
木材を活用したビルも候補とされる場合、どのような効果を期待しますか。該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1 木材活用によるCO2削減効果・固定効果 |
| ☐ | 2 持続可能資源の活用による環境負荷低減を対外的にPRできる |
| ☐ | 3 施設利用時の従業員満足度・QOL向上（内外装への木材活用による嗅覚的なリラックス効果や視覚的な開放感・生産性向上効果など） |
| ☐ | 4 木材活用によるウェルビーイング配慮を対外的にPRできる |
| ☐ | 5 国産木材の活用を通じた地域への貢献 |
| ☐ | 6 その他（自由回答） |
| ☐ | 7 木材を活用したオフィスの自社に対するメリットが想定できない、または関心がない …… 7を選択する場合は複数回答不可 |

6 その他（自由回答）

21 木材を活用したビルへの入居を検討するとした場合、どのような懸念がありますか。該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- 1 火災への不安
- 2 耐震性への不安
- 3 腐食の可能性
- 4 断熱性の低さ
- 5 遮音性の低さ
- 6 木材を活用することによる、賃料等の費用負担の増加
- 7 長期利用に伴う情報・実績（劣化等）が取得しづらい
- 8 建物寿命の短さ
- 9 その他（自由回答）
- 10 懸念点はない … **10を選択する場合は複数回答不可**

9 その他（自由回答）

22-1 【Q12で「7 築年数」に関して「必須」又は「重要度が高い」と回答】した方にお聞きます。
以下の改修工事のうち、築古ビルに入居するにあたり実施が必要になると思われるものについて、
上位5つまで選択してください。（優先順に5つまでの複数回答） 該当する番号に✓をお願いします。

- 1 BCP・水害など、近年注目を集めている災害対応
- 2 光熱水費等のコスト負担（省エネ性能が低い（省エネ照明設備導入有無・断熱性等））
- 3 対外的な環境配慮に係る情報開示・P Rに係る対応（再エネ導入による非化石証書の取得、エネルギー使用量・ゴミ排出量の可視化、環境認証の取得等）
- 4 セキュリティ性能（セキュリティゲートの有無等）
- 5 情報通信環境（通信の安定性、十分な電気容量）
- 6 OAフロア（ケーブル設備の確保等の配線設備最適化）
- 7 共用エントランス等、受付機能・来訪者の待合空間の質
- 8 生産性向上につながる施設の充実度（共用会議室等）
- 9 快適なオフィス環境につながる施設の充実度（リフレッシュスペース、共用ラウンジ・テラス、屋上スペースの有無等）
- 10 多様な人材の働きやすさ（バリアフリー・ユニバーサルデザイン等への対応）
- 11 内外装のデザイン性
- 12 天井高
- 13 水回り（トイレ、パウダールーム等）
- 14 1フロアの面積と形状
- 15 立地の優位性（最寄り駅からの距離・周辺施設等、従業員にとっての働きやすさ）
- 16 歴史・ブランドイメージ（長い歴史を持つビルが持つ独自の雰囲気や、地域に根ざしたブランドイメージがある）
- 17 その他（自由回答）
- 18 イメージがつかない … **18を選択する場合は複数回答不可**

17 その他（自由回答）

22-2 【Q12で「7 築年数」に関して「重要度が中間程度」又は「重要度が低い」、「求めない」と回答】した方にお聞きます。
貴社がオフィスビルを選択する際に、新築ビルと築古ビルの比較において、どのような要素が優れていれば、築古ビルを選択する可能性がありますか。
該当するものを上位5つまで選択してください。（優先順に5つまでの複数回答）
※賃料は同水準とする。また、性能維持に係る工事は適正に行われているものとする。
該当する番号に✓をお願いします。

- 1 BCP・水害など、近年注目を集めている災害対応
- 2 光熱水費等のコスト負担（省エネ性能が高い（省エネ照明設備導入有無・断熱性等））
- 3 対外的な環境配慮に係る情報開示・P Rに係る対応（再エネ導入による非化石証書の取得、エネルギー使用量・ゴミ排出量の可視化、環境認証の取得等）
- 4 セキュリティ性能（セキュリティゲートの有無等）
- 5 情報通信環境（通信の安定性、十分な電気容量）
- 6 OAフロア（ケーブル設備の確保等の配線設備最適化）
- 7 共用エントランス等、受付機能・来訪者の待合空間の質
- 8 生産性向上につながる施設の充実度（共用会議室等）
- 9 快適なオフィス環境につながる施設の充実度（リフレッシュスペース、共用ラウンジ・テラス、屋上スペースの有無等）
- 10 多様な人材の働きやすさ（バリアフリー・ユニバーサルデザイン等への対応）
- 11 内外装のデザイン性
- 12 天井高
- 13 水回り（トイレ、パウダールーム等）
- 14 1フロアの面積と形状
- 15 立地の優位性（最寄り駅からの距離・周辺施設等、従業員にとっての働きやすさ）
- 16 歴史・ブランドイメージ（長い歴史を持つビルが持つ独自の雰囲気や、地域に根ざしたブランドイメージがある）
- 17 その他（自由回答）
- 18 イメージがつかない … **18を選択する場合は複数回答不可**

17 その他（自由回答）

23 近年スマートビルディング（※エネルギー・資源の使用及び排出状況の管理・可視化、オフィスで活動する人々の行動をリアルタイムで可視化する技術等を備えたビル）の普及が進んでいますが、入居ビルに対して導入してほしいものはありますか。該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1 BEMS(※1)によるエネルギーの使用・管理状況の可視化 |
| ☐ | 2 テナント企業別の水使用量、ごみ排出量データの可視化 |
| ☐ | 3 人流データを活用したリアルタイム状況の把握(※2) |
| ☐ | 4 セキュリティに関するデータ(※3)のテナントへの公開 |
| ☐ | 5 サイバー・フィジカル・セキュリティ対策 |
| ☐ | 6 BIM（※4）によるビルの運用管理に係るデータ全体の可視化 |
| ☐ | 7 その他（自由回答） |
| ☐ | 8 特に導入したいものはない・・・ 8を選択する場合は複数回答不可 |

※1 BEMS：Building and Energy Management Systemの略。各種センサーや監視装置、制御装置などの要素技術で構成されたシステムのことを指す。空調や照明などのエネルギー使用状況を見える化することができ、ビル全体を総合的に管理することが可能となるシステムを指す。

※2 オープンスペースやトイレ、同ビルに入居する飲食店・カフェ等の空き状況、オフィスの出社人数等

※3 エレベーターや共有部に設置した防犯カメラ等の情報

※4 Building Information Modellingの略。コンピュータ上に作成した主に3次元の形状情報に加え、建物の属性情報（各部位の仕様・性能、居室等の名称・用途・仕上げ、コスト情報等）などを併せ持つ建物情報モデルを構築するシステム。

7 その他（自由回答）

24 業種について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | | | |
|--------------------------|-----------------|--------------------------|----------------------|
| ☐ | 1 建設業 | ☐ | 9 学術研究・専門・技術サービス業 |
| ☐ | 2 製造業 | ☐ | 10 宿泊業・飲食サービス業 |
| ☐ | 3 電気・ガス・熱供給・水道業 | ☐ | 11 生活関連サービス業・娯楽業 |
| ☐ | 4 情報通信業 | ☐ | 12 教育・学習支援業 |
| ☐ | 5 運輸業・郵便業 | ☐ | 13 医療・福祉 |
| ☐ | 6 卸売業・小売業 | ☐ | 14 複合サービス業 |
| ☐ | 7 金融業・保険業 | ☐ | 15 サービス業（他に分類されないもの） |
| ☐ | 8 不動産業・物品賃貸業 | ☐ | 16 その他（自由回答） |

16 その他（自由回答）

25 国内支社・支店を含めた単体の従業員数（正社員数）について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | | | |
|--------------------------|------------|--------------------------|------------|
| ☐ | 1 50人未満 | ☐ | 4 500～999人 |
| ☐ | 2 50～99人 | ☐ | 5 1,000人以上 |
| ☐ | 3 100～499人 | | |

26 貴社の法人属性について、該当するものを選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | | | |
|--------------------------|---------|--------------------------|--------|
| ☐ | 1 外資系企業 | ☐ | 2 日系企業 |
|--------------------------|---------|--------------------------|--------|

※ ここで外資系企業は、以下の条件を満たす企業を指します。（2025年4月時点）

① 外国投資家が株式または持分の1/3超を所有している企業で、外国側筆頭出資者の出資比率が10%以上である企業

② 外国投資家が株式または持分の1/3超を所有している国内法人が出資する企業であって、外国投資家の直接出資比率及び間接出資比率の合計が1/3超となり、かつ、外国側筆頭出資者の出資比率が10%以上である企業

※ 外国投資家とは、非居住者である個人、外国法令に基づいて設立された法人その他の団体又は外国に本社を有する法人その他の団体をいいます。

※ 直接出資比率とは、資本金又は出資金総額に占める外国投資家の株式又は持分の比率です。間接出資比率とは、外国投資家の国内法人への出資比率に国内法人からの当該企業への出資比率を乗じたものです。

27 貴社の事業活動における売上金額の中で、外資系企業（外資比率が三分の一を超える企業と定義）への売上比率はどの程度ですか。おおよそ該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | | | |
|--------------------------|-------------|--------------------------|-------------|
| ☐ | 1 半数（50%）以上 | ☐ | 2 半数（50%）未満 |
|--------------------------|-------------|--------------------------|-------------|

28 これまで回答した本社オフィスの環境配慮対応・ウェルビーイングを実現するための対応に関連する施設・機能に対する考えを支店（複数本社の場合はもう一方を含む）にどこまで適用するか、適用方針として該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- 1 支店はない ⇒ **アンケート終了**
2 支店はあるが適用する予定はない ⇒ **アンケート終了**

- 3 今後本社オフィスと同じ考えを適用予定
4 すでに本社オフィスと同じ考えを適用済み

29 【Q28で3、4と回答】した企業にお伺いします。本社オフィスと同じ考えを適用する（した）支店の所在地として該当するものをすべて選択してください。
選択肢の中に該当するものがない場合には該当なしを選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- 1 東京都特別区内
2 大阪市内
3 名古屋市内
4 札幌市内
5 仙台市内

- 6 京都市内
7 神戸市内
8 広島市内
9 福岡市内
10 該当なし … **10を選択する場合は複数回答不可**

以上でアンケートは終了となります。ご協力を賜りましてありがとうございました。最後となりますが、以下の欄にアンケートにご協力いただいたご担当者様の情報のご入力をお願い申し上げます。

- 1 企業名* _____
- 2 部署名 _____
- 3 お名前 _____
- 4 メールアドレス _____

※ *としている項目については必須回答となります。
※ メールアドレスを記入いただいた方には、本アンケートの結果を集計した調査結果を別途メールにてご連絡させていただく予定です。
※ 本調査は今後も毎年継続する予定となっております。このため、お名前、メールアドレスを回答いただいた方には、次回以降も回答依頼のご連絡させていただく場合もございますので、予めご承知おきください。